

1人1台端末の活用による実践事例 (小・中学校用)

学校名	新見市立思誠小学校	実践者名	岡本 行生
教科	理科	学年	第4学年
活用内容	実験の結果の共有 授業の振り返り	実践日	令和3年12月7日
		授業活用段階 (岡山県版)	Stage 2
単元・内容等	「もののあたたまり方」 加熱器具などを安全に正しく使って、金属のあたたまり方を調べ、金属は熱せられた部分から順にあたたまっていくことを理解できる。		

活用の概要（目的・活用場面・使用アプリ名を含む）

(1) 本時の課題を確認する。

(2) 金属のあたたまり方について1回目の実験を行う。

カメラの動画撮影機能を用いて、金属板があたたまる様子を記録させる。

- ・撮影時間が長くなると、転送に時間がかかるので、動画の撮影時間は20秒に限定する。
- ・撮影した動画は、Classroomを使って、提出する。



(3) 実験結果を発表する。

(4) 2回目の実験を行う。

1回目の実験と同じ手順で、動画撮影と転送を行う。

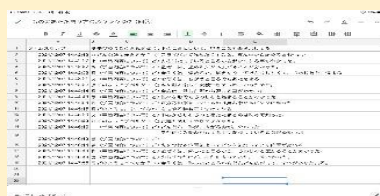
(5) 2回目の実験結果の発表をする。



(6) 本時のまとめをする。

(7) 本時の振り返りをする。

Formsを用いて、授業の振り返りを記入する。



実践者の手ごたえ	児童生徒・保護者等の主な反応や声
実験の様子を動画で撮影して、全体共有をすることで、たくさんの実験結果から結果を考察することができた。 振り返りにFormsを使うことで、学習評価の資料としても用いることができ、便利である。	(児童のようす) 自分がやっていない実験を動画で見ることで、自分の考えがより確かなものへと深まっていた。動画を示しながら発表することで、積極的に発表することができていた。